

# 巨大な水のトンネルは、未来のトビラ。

## ～新日下川放水路のインフラツーリズム～

日高村 / 一般社団法人日高村観光協会  
高知県日高村



### 1 社会資本の概要

日下川は、仁淀川河口より14.2km地点で合流する右支川で、流域面積38.0km<sup>2</sup>、幹川流路延長11.7kmの一級河川です。仁淀川本川から離れるほど地盤が低くなるという特異な地形のため、仁淀川本川の水位上昇による影響を受けやすく、古くから頻発する内水被害が地域課題となっていました。

特に平成26年8月の台風12号では、観測史上最大の降雨を記録し、浸水面積274ha、床上浸水109戸におよぶ甚大な被害が発生しました。これを契機として、平成27年度に「床上浸水対策特別緊急事

業」が採択され、日下川流域で3本目となる「新日下川放水路」の建設に着手いたしました。

令和5年6月の運用開始を経て、令和6年3月に完成を迎えました。同年4月には『新日下川放水路完成式』が執り行われ、現在は治水・防災の要として機能しています。



新日下川放水路トンネル部



村の駅ひだか(建設中) 浸水状況(H26.8)



新日下川放水路呑口導水路



新日下川放水路稼働状況

### 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

新日下川放水路は、建設中の令和2年8月に国土交通省の「インフラツーリズム魅力増進プロジェクト」モデル地区に選定されました。これを契機として、日高村と日高村観光協会は、工事現場の見学を通じてインフラ施設と水害の関わりや歴史を伝えるとともに、地域の活性化を目指すインフラツーリズムの取り組みを本格的に開始しました。

本取組では、水害の歴史の伝承と治水教育の普及、インフラツーリズムを一時的なイベントに終わらせず、収益を伴う「自走化」した事業とすることを目指し、治水学習の開催に加え、近接する地域の

観光資源と組み合わせた周遊型ツアーの検討、専門ガイドの育成など、新たなコンテンツ開発に精力的に取り組んできました。

さらに、令和7年3月には、巨大トンネルという特徴的な空間を観光資源として最大限に活用するため、四国の国管理河川で初となる河川敷地占用許可準則に基づく「河川空間のオープン化」を実現しました。これにより、事業者等による営利活動が可能となり、放水路周辺を賑わいの拠点として活用する基盤を確立しました。



治水学習



工事現場の見学



ガイド研修

### 3 活動の成果や波及効果等

令和6年4月の完成記念イベントには約3,000人が集まり、続く令和7年4月の1周年記念イベントでも、雨天の中400人の皆様に足を運んでいただくなど、『新日下川放水路』が地域の新しい憩いと交流の場として親しまれています。

四国ツーリズム創造機構、高知県観光コンベンション協会、および(一社)仁淀ブルー観光協議会と連携し、視察ツアーと意見交換会を実施しました。これにより、インバウンド対応や周辺資源との連携方を深化させるとともに、周遊観光アプリ「しこくるり」への新規登録や、2025年の四国の涼しい場所を探して「しこくるる(四国+cool)」プランへの参画を通じた魅力発信に努めました。

また、村の新しいシンボルである『新日下川放水路』を活用し、消防団放水訓練や土木の日の広域交流イベントなども活発に行っています。

なお、インフラツーリズム関係イベントのアンケートでは、参加者の満足度が約100%に達するなど、非常に高い評価を頂いています。



「しこくるり」への登録



記念イベントの開催



消防団の放水訓練



土木の日2025

### 喜びの声

受賞者



日高村長  
松岡 一宏



一般社団法人  
日高村観光協会  
会長 田中 覚

#### コメント

「手づくり郷土賞」への選定、心より光栄に存じます。日下川流域は、古くから深刻な浸水被害に悩まされてきた歴史があります。その苦難を乗り越え完成した「新日下川放水路」は、地域の安全を守る「治水の要」であると同時に、私たちの「未来を拓く宝」でもあります。この巨大なトンネルを「未来へのトビラ。」とし、今後も安全・安心な暮らしを守りながら、防災と賑わいが共存する日高村の魅力を広く発信してまいりたいと思います。

#### 活動の内容

- インフラツーリズム(水路見学・地下クルーズ)
- 新日下川放水路関連イベント(プレイベント、完成イベント、1周年記念イベント)
- 治水学習 ● 環境活動 ● 清掃活動

#### 活動の経歴

- 令和2年 インフラツーリズム取組開始
- 令和6年 『新日下川放水路トンネル完成記念イベント』開催
- 令和7年 「河川空間のオープン化」実施

所在地

高知県高岡郡日高村下分地先

活動主体及び連絡先

一般社団法人日高村観光協会  
TEL:050-3204-1996

対象となる社会資本

新日下川放水路  
※管理者:国土交通省四国地方整備局  
高知河川国道事務所



手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編

手づくり郷土賞について

受賞記念発表会

講評

大賞部門

一般部門

資料編